

絆(きずな)とは、人と人を離れがたくしている結びつきを言う。戸田育英財団と奨学生そして奨学生OBが、この結びつきを大切に育んで行けるよう名付けました。

公益財団法人 戸田育英財団事務局 〒104-0031 東京都中央区京橋1-8-13 TEL・FAX : 03-3535-1359
HP : <http://www.toda-ikuei.or.jp/> E-mail : toda-ikuei@toda.co.jp

KIZUNA vol.13 contents

- 平成25年度 懇親会
- 建設現場見学会
- 第2回 理事会
- 平成26年度 事業計画



金沢海みらい図書館

歴代理事長との惜別を機に

戸田育英財団の奨学生の皆さんにとって、平成25年は、とりわけ意義深い年であったと思います。それは本財団の創設者の遺志を真摯に継承してこられた戸田順之助・守二歴代の理事長が相継いで逝去された年だからです。

「温故知新」とは論語中の言葉です。“古きをたずねて、新しきを知る”とも読み下される名言であります。若者は時として、立ち止まり、自分の生き方についての理念と現実を見つめ直し、それを糧に更に前進していくことが肝要です。

皆さんは本奨学金の受給生として、どんな意義を感じているのでしょうか。学ぶための、学生生活を有意義に過ごすための有効な支援金であることは至極当然のことです。しかし、本財団創設者は如何なる思いで奨学制度を創られたかを想起するに相応しい機会こそ今だだと思います。皆さんの手もとにある“しおり”を開いて、もう一度確認して下さい。

家庭環境に必ずしも恵まれない少年時代を過した初代理事長は、苦学力行して築き上げた経験を通して、志を持って学び続けたい若者を支援しようとの思いから設立したのがこの財団だったのです。

フンボルトやフルブライト財団の奨学生の中から、現代の世界を、日本を動かす多くの有意の人材が輩出されているように、本財団からも、所期の目的を理解し、それを礎として、新たな飛躍の人生へ邁進する若い学徒が続出することを願うものです。

歴代の理事長との惜別の年に当り、皆さんと共に本財団について改めて思いを至したいと思います。

公益財団法人 戸田育英財団 監事
学校法人東海大学 常務理事
東海大学文学部 教授

蟹江 秀明

